

令和7年度高圧ガス保安講習会

その他

①良好事例について

※経済産業省ホームページに公開されています。(資料中p24～)
https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2024FY/1000132.pdf

※愛媛県知事表彰の受賞者から提供いただいた保安事例については、以下の県ホームページに掲載しています。

令和5年度 <https://www.pref.ehime.jp/page/41958.html>

6年度 <https://www.pref.ehime.jp/page/94336.html>

7年度 <https://www.pref.ehime.jp/page/128455.html>

1

優良製造所の事例（主なもの）

1) 災害時等における高圧ガス保安行政への協力

○建物火災時に LP 容器撤去等を実施

○認知症サポーターの協定を結び、消費者宅のガス使用状況等を活用した活動

2) 保安管理

【設備構造及び保安上の措置】

○配送システム管理に LPWA（無線通信技術）を活用し、帳簿管理とデータ管理を紐づけ

○衛星電話の設置

○保温材、テープのほつれ、がたつき等設備の不具合について、すぐに担当者に連絡する体制の構築

○場内カメラを設置し、異常時は自宅でも確認できる環境の構築

2

【規程類の整備・活用、保安管理の組織の整備及び保安要員の配置状況】

- 各部門の業務、責任権限及び指揮命令系統は高圧ガス保安組織図に規定され、夜間連絡先も別途制定。関係者へ周知
- 非定常時の作業についても、KYを必ず実施し、リスク低減化を図っている
- 日常点検及び充填作業時のヒヤリハットを実施
- リスクアセスメントを実施し、大規模災害発生時のフローを規程

【施設等についての保安上の改善状況】

- 充填所内の照明を水銀灯からLED照明に変更し、視認性向上による作業環境の改善
- 容器への充填時はゴーグル、作業手袋、安全靴の装着を徹底し、作業安全を強化
- ヘルメット着用など注意喚起の看板は大きくし、社外の人へもわかりやすく伝える工夫を実施

3

3) 保安技術

【社（所）内における技術情報の整備、活用状況及び研究実績】

- 他工場部門と定期的な情報交換、現場査察による研究を3～4回／年実施
- 従業員がアクセス可能なデータベースにより、最新の保安情報を随時確認できる体制が整えられている。保安事例が随時掲載されるため、速やかに全職員に共有できる体制を整備
- 年数回（年2～3回）、グループ会社による保安に係るセミナーに参加するとともに、毎月のミーティングで事業所内に技術情報を展開

【IoT、ビッグデータ等の導入状況】

- 配送システム管理にLPWA（無線通信技術）を活用し、実態に併せて受入日誌の変更を行い作業の安全性向上と効率化を図るとともに、帳簿管理とデータ管理を紐づけている。また、経理担当者も保安係員が担い、保安と経理（数字）を紐づけられるようになった
- LPWAのデータのエラーの原因を業者任せにせず、自ら1件ずつ確認して、システムの精度向上に努めている

4

4) 保安教育

【社（所）内における保安関係の従業員教育の実施状況】

- 保安教育は年12回実施。教育内容は保安係員だけでなく、保安係員代理者、他部所のものと資料を検討している。教育は全従業員に対して実施し、欠席者に対するフォローも行っている。毎回、教育の振り返りとして受講者の感想や評価を書面にて回収している。机上の教育を少なくし、可能な限り現場での説明と体験を行っている
- 社内コミュニケーションの場でKY・5S・設備保全などの小集団活動の推進を行っている
- 技術の伝承を目的として、設備整備や修理の際には複数人で行う事で、教育も兼ねた整備・修理作業を実施
- 毎回異なる非常時（停電・漏洩・火災等）を想定した「非常時対応訓練」を各職場で年3回実施